

Information 広報渉外委員会から

1. 事務局移転

2010年5月から事務局業務委託先の(株)メディカルトリビューンが下記に移転した。

<移転先住所>

〒102-0074 東京都千代田区九段南2-1-30 イタリア文化会館ビル8F

TEL, FAX, E-mailアドレスは変更なし

2. 理事会 (2010.2.17, 神戸ポートピアホテル) 報告

1) 会則規則変更

①日本脳神経血管内治療学会専門医の基礎資格として、現行は日本医学放射線学会・放射線診断専門医となっているが、2009年5月から同学会の制度が変更されたため、他領域との整合性をとるため日本医学放射線学会・放射線科専門医に改めることが提案され、出席者の賛成を得た。

本件は、安陪等思理事から同学会に確認し同学会の了解を得てから、日本脳神経血管内治療学会の規則、細則を変更することとなった。

②退会後の復会規程について審議したが、制定不要という意見が多数あり、一度退会した後は、再入会を促すことになった。

③非会員のJNET購読料を15,000円とすることが承認された。

2) アンケートの件

①機関誌編集委員会 (小宮山雅樹委員長)

・英文化：40%は英文化が必要、14%は必要だが難しいという結果。

・査読基準：今でよい80%、下げる10%、全部掲載10%。

・その他の意見：PubMedに載せたい、総説特集が欲しい、blind reviewを継続、査読が迅速、など。

②専門医制度委員会 (宮地 茂委員長)

指導医申請が専門医取得後5年を要する件：撤廃を求める意見は、維持するという意見の半分だった。技術審査を求める、専門医受験資格をもっと厳しく、という意見もあった。指導医の意見が反映されている可能性がある

るが無記名なので判らない。

③結果公表について

・JNETに掲載することは可能。それぞれの委員会でもとめる。少なくともHPへの掲載は行うべき。

3) 各委員会報告

①国際委員会 (瓢子敏夫委員長)

・WFITNの入会案内を積極的に行っている。

・WFITN総会が1995年に滝 和郎先生が開催して以来15年経った。日本誘致に関する具体策を検討する。

②広報渉外委員会 (坂井信幸委員長)

・HPの英文ページを英語堪能な会員の協力で充実させたい。

・JNETの英語抄録を英文ページに掲載。

③医事社会保険委員会 (根本 繁委員長)

・社会保険診療報酬の4月の改定があります。

④教育委員会 (中原一郎委員長)

・脳神経外科の専門医試験の条件に脳血管内治療(脳動脈瘤塞栓術、頸動脈ステント留置術)の経験が必要になったが、その救済処置として日本脳神経血管内治療学会CEP受講がある。広い会場を確保するよう努める。

⑤法務・医療安全委員会 (桑山直也委員長)

・頭蓋内血管径術に関する高等裁判所からの質問に学会として対応した。本件は、日本脳神経外科学会、日本脳卒中学会も対応した。

⑥専門医制度委員会 (宮地 茂委員長)

・日本血管内治療学会の専門医制度について、創設そのものも認めないことになった。

・日本脈管学会の専門医は、頸動脈の診断と頸動脈内膜剥離術が入っている程度で、頸動脈ステント留置術を行うためのものではない。

⑦選挙管理委員会 (中原一郎委員長)

・本年実施予定の理事、専門医指導医認定委員の選挙日程、要項を発表し承認された。

・選挙権に関する会費完納条項は明確であるが、被選挙権については定款に沿った記載が必要なので、今回の

選挙後に見直すことになった。

⑧医療機器等実施基準策定委員会（滝 和郎委員長）

・新しい機器のスムーズな承認を学会が求める必要があるので積極的に取り組む。

⑨地方会整備委員会（佐藤浩一委員長）

・認定した地方会と開催補助金交付の手続きを開始する。

4) その他

①日本血管内治療学会の案内（根来 真監事）

ホームページができた。演題応募、参加をお願いする。

②脳血管内治療診療指針発刊（坂井信幸理事）

循環器病研究班編の脳血管内治療診療指針がJNET増刊号として出版された。

3. 理事会（2010.5.6, ブリーズベイホテル横浜）報告

1) 会則規則変更

会費滞納と会員資格の問題（中原一郎会長）

・3年滞納で退会、2年滞納で休会という規程が定款にある。今回の選挙はそれを適用した。滞納者に被選挙権も認めないよう規則を定める。

・認定委員の被選挙人資格に、理事と同様の規程を設ける。

・以下の技術的修正を含めて、規則改正を承認。

<規則改正の主要点>

●NPO法人日本脳神経血管内治療学会施行規則

第6章 選挙に関する規約

第32条 共通事項

7. 選挙が行われる年の1月1日現在における会費未納者は、選挙人、被選挙人の権利を有しない。

●NPO法人日本脳神経血管内治療学会理事選出細則

（被選挙人の資格）

第6条 理事選挙の被選挙人は、選挙が行われる年の1月1日現在において、会費納入を完了している日本脳神経血管内治療学会の正会員で、以下の各号に該当する者とする。

1. 理事に就任する年の12月1日に満65歳未満であること。

2. 理事に就任する年の12月1日に引き続き7年以上日

本脳神経血管内治療学会の正会員であること。

第7条 選挙管理委員会は、選挙が実施される年の会員名簿およびその後の会員からの異動報告に基づき、本細則5条、第6条に基づく資格審査を行い、第一次選挙人名簿、第一次被選挙人名簿を作成し、公告しなければならない。

（異議の申し立て、審査）

第8条 選挙人、被選挙人は、第一次選挙人名簿、第一次被選挙人名簿の内容に関し、定められた日までに選挙管理委員会に異議の申し立てをすることができる。

2. 前項の異議申し立ては、異議の内容を明記し、自筆による署名をしなければならない。

第9条 選挙管理委員会は、異議の内容を審査し、その結果を申立人に通知しなければならない。

2. 審査結果についての異議申し立ては、これを受理しない。

（名簿の修正）

第10条 選挙管理委員会は、異議の内容が正当であると認められたものについて、第一次選挙人名簿、第一次被選挙人名簿を訂正し、最終選挙人名簿、最終被選挙人名簿を作成し、公告しなければならない。

（選挙人、被選挙人の確定と送付）

第11条 最終選挙人名簿、最終被選挙人名簿に記載された者を、選挙人、被選挙人と確定する。

●NPO法人日本脳神経血管内治療学会専門医指導医認定委員会委員選出細則

（被選挙人の資格）

第6条 認定委員選挙の被選挙人は、選挙が行われる年の1月1日現在において、日本国内に居住する医師で、会費納入を完了している日本脳神経血管内治療学会の正会員で、以下の各号に該当する者とする。

1. 認定委員に就任する年の12月1日に満65歳未満であること。

2. 認定委員に就任する年の12月1日にNPO法人日本脳神経血管内治療学会の指導医であること。

3. 被選挙人名簿作成時に指導医であること。

・会費滞納と専門医資格の関係は重要なので、制度委員会が規則を制定する。

（被選挙人の辞退）

第7条 認定委員を辞退する者は、被選挙人名簿が公告されてから10日以内に選挙管理委員長に申し出なければならない。

2. 一度辞退を申し出た者は、辞退を撤回する場合、選挙管理委員長に申し出なければならない。

第8条 選挙管理委員会は、本細則6条に基づく資格審査を行い、被選挙人名簿を作成し、公告しなければならない。

2) 頸動脈用ウォールステント、フィルターワイヤーEZの初期指導医について

・ボストンサイエンティフィックジャパン社から初期指導医を推薦して欲しいと言う依頼が滝 和郎理事長、中原一郎会長宛にあった。

・医療機器実施基準等策定委員会（滝 和郎委員長）の下記の案を承認した。

<本学会会員における初期指導医の推薦基準>

1. JSNET専門医であること。
2. 頸動脈ステント留置術（薬事承認された先行製品であるPrecise・AngioGuard XPを用いた治療）を術者として30件以上経験していること。
3. 本製品のプロクター開始までに、本製品（頸動脈用ウォールステント・フィルターワイヤーEZ）を5件以上経験すること。
4. JSNET以外の関連学会からの初期指導医推薦基準についても「関連12学会承認頸動脈ステント留置術実施基準」をもとに、上記2, 3, の基準を求めること。

・なお、本学会以外の基礎資格を背景とする領域にも同じ基準で運用することを求めることになった。

・同社が専門医に経験を確認するアンケートを実施することも承認された。

・初期指導医以外の医師は、現行のCAS実施基準に則ってトレーニングを受けることになる。

・CASに関する関連12学会実施基準の見直しを進めることになった。

3) 各委員会報告

①機関誌編集委員会（小宮山雅樹委員長）

・2010年で機関誌（JNET）編集長、学会機関誌編集委員長を交代したい。

・編集長と機関誌編集委員長は同じであること、選考方法は理事長、会長および現任者の協議で指名することを確認した。

②国際委員会（瓢子敏夫委員長）

・WFITN総会が1995年に滝 和郎先生が開催して以来15年経った。2015年の20年ぶりの日本開催を学会をあげて誘致するための提案を採択した。

・誘致活動の方針

(1) WFITN2015の日本開催への立候補を募集（本理事会、学会HP）

期限を5月一杯とし、国際委員会へ意思表示を求める。

(2) WFITN2015の日本開催予定の一本化
複数立候補の場合を含めて、メール理事会での議論と投票で決定。

(3) 国際学会、セミナー、等で、知人友人を通じて、WFITN2011総会における投票を依頼する。（各理事・会員）

(4) 投票の行われるWFITN2011総会（ケープタウン、2011年11月）への参加の呼びかけ
誘致HPへJSNETのHPからリンク
HPでのWFITN2011参加の呼びかけ
HPでの開催情報の提示・更新
HPでの演題募集等のHPへのリンク
投票権の確保のためのWFITN年会費納入のお願い

(5) WFITN2015日本開催に関するJSNETの立場
WFITN2015の日本開催をJSNETの総意として支持する。

WFITN2015総会の開催に関しては、財政的援助は行わない。

WFITN2015総会の開催に関しては、後援JSNETとすることを認める。

開催の広告、呼びかけ、演題募集への協力、プログラム委員会への協力等、開催事務局との連携を行う。

・2011年2月に日米脳卒中外科合同会議があり、本学会にも協力の依頼があった。（滝 和郎理事長）

③広報渉外委員会（坂井信幸委員長）

・引き続き、HPを充実させたい。

・Chapot先生のコース案内依頼があったので対応して欲しい。（寺田友昭理事）

④法務・医療安全委員会（桑山直也委員長）

- ・フローガイドカテーテルに関する医療事故情報が販売企業から届き会員への周知を依頼された件を報告し、承認した。HPへの公告は会員専用ページに掲載する。
- ・今後の医療機器に関する公告のルールを委員会で策定する。
- ・医療放射線防護連絡協議会理事に安陪等思理事を推薦する。

⑤専門医制度委員会（宮地 茂委員長）

- ・専門医制度の講習に医療倫理を含む必要がある。制度の内容を取り込む方向で検討を始めて欲しい（滝 和郎理事長）

⑥選挙管理委員会（中原一郎委員長）

- ・2010年4月に実施した、理事、専門医指導医認定委員選挙の結果を報告。

<NPO法人日本脳神経血管内治療学会選挙開票記録>

開票日：平成22年4月29日（木・祝）

開票場所：先端医療センター

選挙管理委員：中原一郎、江面正幸、小林繁樹

立会人：根来 真、兵頭明夫

マークリーダーオペレーター：坂井信幸、松島 聡

■結果

投票封筒総数：465（有権者1,188，投票率39.1%）

無効封筒：8（記名なし：1，期限切れ：3，中封筒不備：4）

総開封数：457

●理事選挙

投票数：453，疑問票処理（投票要項違反：26），有効投票総数：427

当選者（職責理事4名を除く）：坂井信幸，松丸祐司，兵頭明夫，吉村紳一，瓢子敏夫，杉生憲志，寺田友昭，根本 繁，宮地 茂，伊藤 靖，松本康史，大石英則，佐藤浩一，新見康成，滝 和郎，広畑 優，小宮山雅樹，

長島 久，田中美千裕，永田 泉，安陪等思，小林英一，石井 暁，藤中俊之，東 登志夫（次点）村山雄一

●専門医指導医認定委員会委員選挙

投票数：457，疑問票処理（投票要項違反：13），有効投票総数：444

当選者：坂井信幸，桑山直也，松丸祐司，吉村紳一，兵頭明夫，宮地 茂，根本 繁，江面正幸，瓢子敏夫，寺田友昭，杉生憲志，小宮山雅樹，伊藤 靖，小林繁樹，滝 和郎，大石英則，松本康史，中原一郎，広畑 優，安陪等思（次点）村山雄一

⑦地方会整備委員会（佐藤浩一委員長）

- ・認定した地方会との名簿共有，参会記録の共有を進める。
- ・地方会の演題名と演者名をHPに掲載，JNETには1年分まとめて掲載。

4) その他

- ・AAFITN2012の会長に決まった。6月に名古屋で開催する（宮地 茂理事）。本件は立候補前にメール理事会で本学会が資金面を除き協力することが決まっていたので，組織委員会と協力して準備を進める（瓢子敏夫理事）
- ・日本脳卒中学会の専門医制度で，本学会学術総会の参加に5点が認められた（滝 和郎理事長）

4. 次期専門医指導医認定委員会について

2010年5月6日の理事会に引き続いて行われた，20名の選挙選出次期専門医指導医認定委員の協議により，次期認定委員長に坂井信幸委員を選出した。また，専門医制度事務局を学会事務局に統合する方向で準備を進めること，引き続き滝 和郎現委員長，松島 聡専門医制度事務局長の指導協力を仰ぐことになった。新委員会は9月に活動を開始する予定。